

美原中学校 PTA 広報紙

MIHARA

2018年度

Vol. 89

2018.10.1 発行

INDEX

放課後学習の取り組み

強歩遠足・宿泊研修
修学旅行
体育祭・職員紹介
PTA活動報告

発行 美原中学校広報委員会
印刷 釧路綜合印刷株式会社

放課後学習の取り組み

今年も美原中学校では放課後学習が行われています。

この取り組みは、道教委の退職教員等人材活用事業の非常勤講師を中心に釧路市の学力向上推進事業の学習推進員の協力を得て実施しています。復習教材を使用するなど家庭学習の定着を図り、学力の向上を目指す為の取り組みです。今回は放課後学習の様子を取材しました。

【ひとりひとりの教育的ニーズに応じた指導の充実】を図ることを目的に、今年度も【放課後学習】を行っています。

例年、小学校・中学1年程度の、義務教育段階での学習内容の確実な定着を目指し、小・中学校での学習内容が身に付いていない生徒を対象に実施していますが、今年度は申し込みのあつた生徒全員を対象に放課後学習を実施したため、申し込みをいただいた家庭がとても多く、40名以上の生徒が参加しているそうです。



夏休み明けの様子

取材に伺つた時、丁度1年生の放課後学習が行われており、特別指導員の先生2名と教頭先生も生徒の様子を見守る中放課後学習が行われていました。

プリントが終わつたあとは、各自テス^ト勉強や宿題を行い、あつという間に放課後学習時間は終了

何事も行き過ぎは禁物なので、
その辺りの対応は今後も検討を重
ねていきたいとの事でした。

—

プリントを始めます。
わからない所は飛ばしてど
んどん問題を解いていき、
自習時間にわから
ない所を先生に質
問して解き方を教わる
そうです。

何事も行き過ぎは禁物なので、
その辺りの対応は今後も検討を重
ねていきたいとの事でした。

ただ、自由なので、学校の先生が放課後学習に顔を出すと、とたんに緊張する生徒がいたり、嫌だなあと顔に出る生徒がいたり、まだお喋りに夢中になつてしまつ生徒もいるようです。

聞いて解き方を教わる
そうです。

放課後の1時間という限られた時間の中で細かくスケジュールを組み、常に勉強に飽きさせないための工夫を重ねる事で、生徒達が自然と勉強に向かう様子が見受けられました。

自由な取り組み

放課後学習は、学校の授業とは違った自由な取り組みが行われています。

例えば、放課後学習に参加している生徒にどの様な科目を勉強したいか要望を聞き、生徒の要望を学校に伝え、実際に生徒の要望の科目を行えるか検討したり、勉強が苦手な子もいますので楽しく勉強を行うにはどのように放課後学習を進めるべきかを考えたり。

いつも修正と改善を重ねながら放課後学習を行っているそつです。



放課後学習の先生に話を伺いました。

今年度の放課後学習会について、講師の山崎先生にお話しを伺いました。

Q 現在までの取り組みと課題を教えてください。

A 昨年度の活動を踏まえ、各学年の授業進度に合わせて数学のプリント学習を行っています。夏休み前の活動では、プリントの難易度を上・中・下の3種類用意し、終わつた人は次に進むといった流れで学習会を行っていました。

しかし、生徒の学力定着度に差が大きいため、小学校や中1の学習につまずきがある生徒への支援が不十分だつたり、全体の活動を把握できず生徒の学習に向かう環境を整えることができない等の課題が出ました。

そのため、夏休み明けからは百マス計算（正負の数）に取り組んだ後、各学年の進度に合った標準レベルのプリントのみを用意し、各自そのプリントに取り組み、終わつた人はそれぞれ用意した学習を行うという流れとなりました。

プリントを1枚にすることによって、集団内でどの生徒にどの様なつまずきがあるかの把握ができ、個別への支援が以前よ

り改善できました。しかし、個別支援が十分であるとはいえない、小学校の内容のつまずきに対する手立てが不十分です。

また、現在数学のプリントしか用意できていない現状があり、生徒の要望でもある英語等、他教科の取り組みが、各自の勉強する時間のみとなっています。

Q 放課後学習に参加している生徒に求めることは？

1時間の中で、どのように内容を組み立てることが生徒の学習によりよいか、これからも改善を図つていきます。

Q 実践した勉強のコツってありますか？

A 私が中学校で実践していたことは、先生から出た宿題ワークを繰り返し取り組むことです。どの教科も勉強の基本は授業だと考えますが、内容を確実に習得するためには、先生の出した課題に取り組むことが必要だと思います。

高校の話にはなりますが、自身は何回も書くよりも声に出して読むほうが覚えやすかつたので、英単語等はそのようにして身につけるようにしました。

一人一人覚えやすい方法は違うと思うので、色々な方法を試して自分に合つた勉強法を中学のうちにできれば、高校に行つても焦らずに済むと思います。

1時間という限られた時間で、生徒個々の習熟度を図るのは難しく、もっと個々に手厚い取り組みを行いたいとの思いの反面、外部委託の非常勤講師であることから、活動時間には制限があり、生徒それぞれの習熟度を学校側と意見交換する時間がなかなか取れないといった双方の悩みもあるように感じました。

◆取材を終えて◆



様々な勉強法はあると思いますが、何よりもその日やつたことは、その日のうちにやるのが一番だと思います。

また、非常勤講師の先生のお話しを通して、勉強が嫌いな子に勉強が少しでも好きになつてもらえるような学習会にしたいとの思いが非常に感じられました。

小学校でのつまずきが、そのまま学習意欲の低下にも繋がりましたので、その部分をどのように解消していけば良いのかといった課題や、学習会に参加する事で、少しでも学習意欲の向上に繋げたいと熱心に語る様子が印象的でした。